だんだん通信　3月号

2025

だんだん通信は、365 日オープンのだんだんテラスで起きている日々のできごとや地域の情報を発信するための通信紙です。

中層階段室型住棟が建ち並び、団地特有の景観を形成している。

みんなで楽しく

モルックをやってみよう！を実施しました.

男山地域では３回目となるモルックイベントを四者連携協議会主催で３月９日（日）に行いました。モルックの他にも、「だんだん手作り市」や八幡市による「健康ブース」、パンマルシェも実施され、当日は約 100 名の参加者が集まりました。

誰でも簡単に楽しめるモルック

当日は天候にも恵まれ、会場にはこどもから高齢の方が集まり、モルックを楽しみながら交流していました。

スポーツ推進委員さんにモルックのルールを教えてもらいながら、初めての方でも楽しんでいる様子でした。

こだわりのパンが集まるパンマルシェ

パンマルシェでは男山地域のパン屋を中心に４店舗（べーぐる屋 自家製酵母ぱん roll、mitten、ベーカリーあたか、リーブル）にご協力いただき、普段なかなか食べられないパンを楽しむことができる良い機会となりました。

特別企画

ベリーダンス×保健師さんとの座談会を実施しました.

月に１回活動している「ベリーダンスでからだ見直し教室」と子育て支援施設「おひさまテラス」が連携し、子育て世代を対象とした保健師さんとの座談会を開催しました。

おひさまテラスで活動している保健師さんにお子さんを預け、ベリーダンスでリフレッシュをした後には保健師さんを囲み、普段気になってることなどをざっくばらんに話し合いました。

おとこやまとわたし

男山団地住民　Ｎさん

私は、男山団地の高層棟に住み始めて約45年になります。夫の友人が先に住んでいて、「住みやすい」と聞いたことがきっかけで引っ越しました。当時、子どもが二人いたため少し手狭でしたが、市場や銀行、郵便局もそろっていて、不便ではありませんでした。

子育て環境は整っていました。さくら公園のこども動物園には猿などが飼育されていて、子どもをよく連れて行っていました。団地の周りにも公園があり、小さな子どものいた私にとっては過ごしやすかったです。

また、当時は高層棟の最上階にある展望室に誰でも入れていました。周りに高い建物が少なかったため、いろんな花火大会も楽しめました。

高層棟のエレベーターは、当時は珍しくて職場の人にも「いいね」と言われましたが、住民同士で話す機会が少なく、一人でいるような寂しさを感じることもありました。今ではエレベーターなしでは生活できないし、歳を取ってしまいましたね。

■予定

朝 10 時からのラジオ体操

日　時：毎日 10:00 ～
場　所：男山中央センター商店街

だんだん朝市

日　時：毎週火・木曜日 10:00 ～
場　所：だんだんテラス

やってみよう会議

日　時：第３土曜日 13:00 ～ 15:00
場　所：だんだんテラス

だんだん読書会

日　時：毎月第１月曜日 14:00 ～ 15:30
場　所：だんだんテラス
参加費：100 円

だんだん句会

日　時：毎月第１土曜日 10:30 ～ 13:00
　　第３水曜日 13:30 ～ 16:00
場　所：だんだんテラス

歌を歌う会

日　時：毎月第３水曜日 10:30 ～ 11:30
場　所：だんだんテラス

＼フリマの出店者も募集中！／

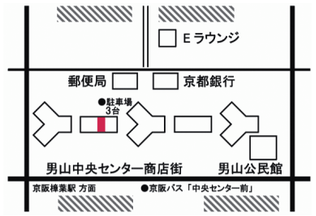
だんだん手作り市

日　時：毎月８日 10:00 ～ 15:00
場　所：男山中央センター商店街

＼外国につながりをもつ子どもの居場所／

イージーランゲージジャパニーズ

対　象：20 際以下の日本語を学びたい方
日　時：毎月日曜日（要確認）
主　催：イージーランゲージジャパニーズ
共　催：（公財）京都府国際センター
場　所：だんだんテラス
募　集：支援者の方を募集しています。元教員の方、日本語教育を学ばれている方など関心のある方がいらっしゃいましたらご連絡ください。
メール：yawata.kodomo619@gmail.com



住　所：京都府八幡市男山八望 3-1B47-104
　　男山中央センター商店街
アクセス：京阪バス 中央センター前下車
Eメール：dandan.terrace@gmail.com

だんだん通信 3 月号

発行日：2025 年 3 月 21 日
発行元：四者連携協議会

四者連携協議会とは男山地域において、関西大学、UR 都市機構、八幡市、京都府が「地域とともに元気な暮らしができる、住みたい、住み続けたい男山」を目指し、連携・協力する協議会のことです。

編　集：藤本恭輔

次回は５月中旬頃に５月号を発行予定です。

高齢者が住み続けられる環境づくりに向けた取組

家庭系粗大ゴミ回収支援社会実験

UR 男山団地 B 地区北側エリアを対象に、家庭系粗大ゴミの処分に困っている方々を支援する仕組みを検討するための社会実験を行いました。

実施日：12/15（日）
主　催：四者連携協議会
協　力：男山団地 B 地区自治会、だんだんテラスの会
　　関西大学体育会カイザーズ

モルックをやってみよう！

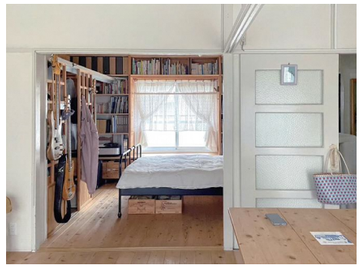
モルックを通じた新たなコミュニティ形成を目的としたイベントでは、多くの地域住民にモルックを楽しんでもらいました。

実施日：9/8（日）、3/9（日）
主　催：四者連携協議会
協　力：男山団地 B 地区自治会、だんだんテラスの会
　　だんだん手作り市、(株) UR 京都住まいセンター

住まい方調査

UR 男山団地で長年住み続けた高齢者世帯に協力してもらい、住み続けるための暮らしの工夫を明らかにする「住まい方調査」を実施しました。

実施日：7/20（土）～
主　催：関西大学、UR 都市機構
協　力：男山団地居住者



外国人が住みやすい環境づくりに向けた取組

やわたわーるど写真展 in 八幡市民文化祭

「ふるさと」をテーマに実施した写真展には 62 作品が展示されました。そのうち 31 作品は外国人住民の作品で、展示ブースには、外国人住民による自身の写真の紹介を通して来場者との交流がなされていました。

実施日：10/26（土）
主　催：八幡市

やわたすぽーつまるしぇ

日本人と外国人双方が親しみやすい「スポーツ」、「食」を切り口としたイベントには、日本人 44 名、外国人 33 名が参加し、スポーツを一緒に行ったほか、ベトナム料理店、ネパール料理店、洋風惣菜店の料理を楽しむなど、さまざまな交流がなされていました。

実施日：11/16（土）
主　催：八幡市

英会話×リアル謎解き八幡に眠る謎

関西大学外国語学部高橋秀彰ゼミによる本イベントには小学生から大人まで 25 名程度の参加があり、留学生や学生と英語で交流することで英語を話すことの楽しさや、学習意欲を深める機会となった様子でした。

実施日：1/26（日）
主　催：関西大学、八幡市

今年度の取組や活動を振り返る。

平成25年10月、京都府知事を立会人として、八幡市、UR 都市機構、関西大学で「住みたい、住みつづけたい男山」を目指し、「男山地域まちづくり連携協定」を締結しました。

平成26年3月には、地域住民と市等が一体となって、主体的・自立的に様々な取組や活動が展開されていくことを目的とした、「男山地域再生基本計画」を策定しました。

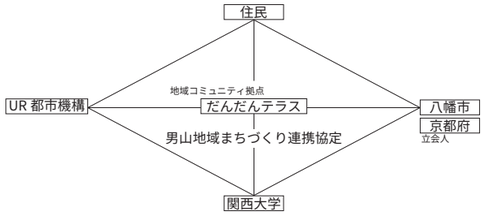
連携協定の締結から12年目となる今年度の取組や活動は、令和7年2月13日（木）に開催された年次報告会にて、八幡市、UR 都市機構、関西大学、住民から報告されました。住民と八幡市、UR 都市機構との意見交換会も同時に開催されました。

この報告会で報告された四者連携協議会（八幡市、UR 都市機構、関西大学、京都府）による取組と住民による活動の一部を下記に紹介しています。また、当日の資料は八幡市のホームページで閲覧できます。興味のある方はぜひご覧ください。

男山地域まちづくり連携協定の締結

男山の将来目標

「地域とともに元気な暮らしができる、住みたい、住み続けたい男山」



八幡市、UR 都市機構、関西大学、京都府（立会人）が締結した「男山地域まちづくり連携協定」に基づく取組の一環として、地域コミュニティ拠点「だんだんテラス」が開設されました。この拠点を通じて、地域の課題や現状を把握し、四者が連携した取組や地域住民による活動が展開されています。

子育てしやすい環境づくりに向けた取組

こども食堂、みんなの食堂

男山中央センター商店街にある喫茶店「ピーパル」とだんだんテラスの会が連携し、地域住民による配膳ボランティア、食材の寄付や募金により実施しました。子供たちや子育て世帯の声を聞く良い機会となりました。

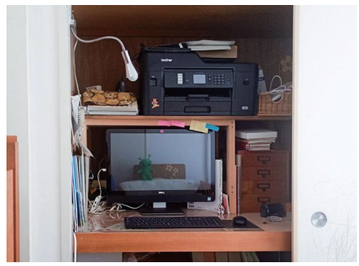
実施日：7/29（月）、8/5（月）、8/12（月）、8/19（月）、
　　8/26（月）、12/21（土）
主　催：男山中央センター商店街「ピーパル」
　　だんだんテラスの会

古着でなにつくろ？

アート活動を通じて SDGs について考える工作ワークショップを小学生を対象に実施しました。地域住民から集めた古着や、工場の製作過程で出る廃材などを使い、バッグや写真立てを製作しました。

実施日：4/13（土）、2/22（土）
主　催：NPO 法人こどもアート企画 motto
　　だんだんテラスの会、だんだん手作り市

住まい方調査

UR 男山団地の子育て世帯に協力してもらい、子育て世帯の暮らしや工夫を明らかにする「住まい方調査」を実施しました。

実施日：7/20（土）～
主　催：関西大学、UR 都市機構
協　力：男山団地居住者